



イズミル経済大学

12月の報告書

12月31日に全ての授業が終わり、忙しさがひと段落しました。トルコでは日本で言うお正月休みのようなまとまった休みがなく、大晦日までみっちり授業があつてから、元旦と二日だけ休みでその後すぐにテスト期間に入ります。私の感覚だと正月は休むものなので、学期末はだいぶ疲れしました。

今月は私が取っていた授業について詳しく書こうと思います。トルコの大学で日本の大学と違うところは、一コマ50分×最大5コマと、ひとつの授業が比較的長いところです。

私は全て自分が専攻している建築の授業を取りました。右は1週間のスケジュールです。(Arch305はdrop期間を過ぎてから辞めたくないので、教授に直接伝えて途中から行くのを辞めました)

実際には全部で5つ授業を取っていましたが、一個一個が長いので忙しさは日本にいるときとちょうど同じくらいの感覚でした。

	月	火	水	木	金
1 08:30		Arch201	FFD221	Arch207	Arch201
2 09:25		D221		D221	D221
3 10:20		Arch201	FFD221	Arch207	Arch201
4 11:15				D221	
5 12:10		Arch201		Arch207 D221	
6 13:05					Arch328
7 14:00					C204
8 14:55			Arch203		Arch328
9 15:50			D022		
10 16:45			Arch203		

ARCH201

Architectural Design

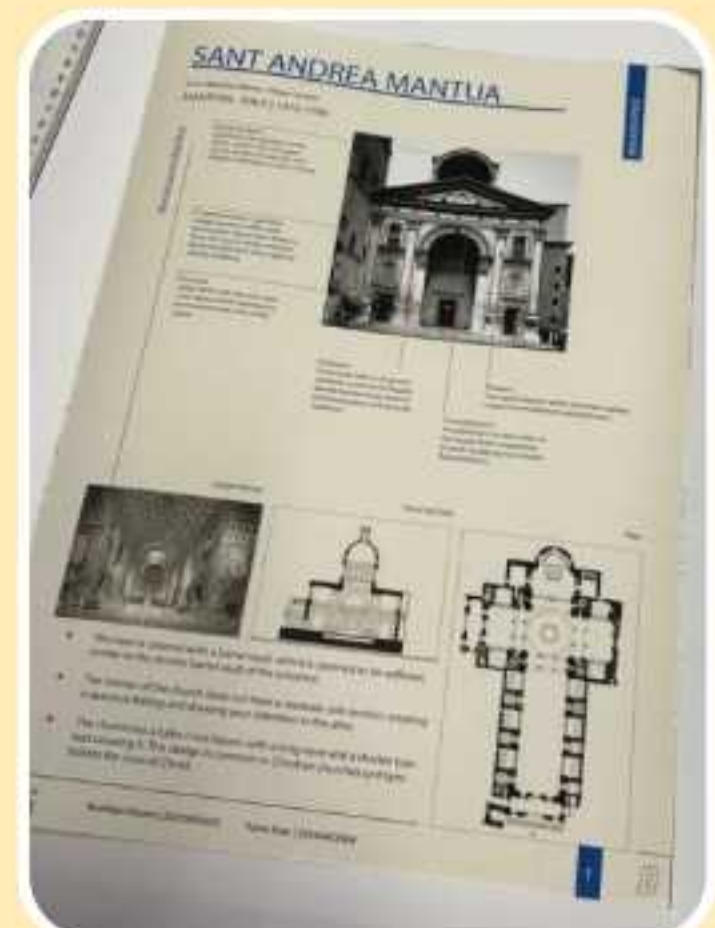
メインの建築の授業です。前半で海に面したガーデンの設計、後半でそのガーデンの横にコミュニティハウスを設計しました。週2回あって、課題も毎回出るので大変でした。作業するスタジオは24時間開いていて、最終課題の提出前はみんなで徹夜で作業しました。しかもそれが大晦日の朝に提出だったので、そんな時期に徹夜したのは人生で初めてで、良い経験になりました(笑)



ARCH203

History and Theories of Architecture

建築史の座学の授業です。中間、期末テストとノート提出、最後にはペアワークで授業で習った建築をひとつ選んでそれについてのフラッシュカード(と言ってもA3のポスターのようなもの:写真右)を作るという課題もありました。



ARCH207

Architectural Construction and Materials

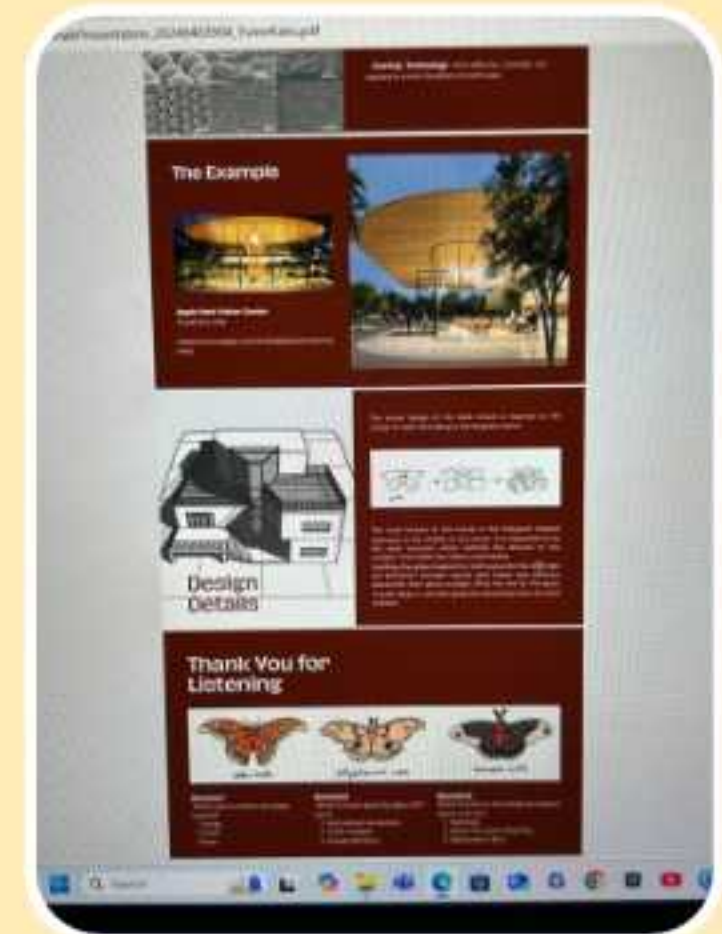


初めに3人のグループを作り、半年間そのグループで全部で3つのプロジェクト(建設技術や材料を学ぶことを目的とした製図やモデル作り)に取り組みました。毎回の授業は主に3コマに分かれていて、1コマ目は座学、2コマ目はその場で提出する製図、3コマ目は教授によるプロジェクトの指導がありました。授業内ではプロジェクトを進めないで、課題としてグループで毎週集まるので大変でした。一回だけ実際に工事現場に行ってみる機会もありました(写真右)。

ARCH328

Designing with Nature: Biomimicry in Architecture

前半は座学、後半は前半で学んだことについてのプレゼンテーションが3回ありました。そのうち一回はグループワークで、メンバーがトルコ語で喧嘩し出すというハプニングもあって大変でした(笑) それとは別に毎週課題が出るんですが、その課題は学期末までいつ提出しても良いというシステムで、私はそれを一回もやらずに最後まで取っておいたので、年末に痛い目に合いました。



FFD201

Computer Aided Architectural Graphics



前半でライノセラス、後半でArchicad、最後の3週間でAutocadとTwinmotionにも触れるという超タイトスケジュールでした。ライノは隣の友達がほとんどやってくれたので今でもあまり使えませんが、Archicadは全くの初心者から少しだけ使えるようになったので成長しました。授業の進みがはやすぎるのに加えて、教室のパソコンに入っているアプリがトルコ語だったので、翻訳機を片手に半泣きでやっていました(笑) 本当にしんどかったです。

総合的な感想は、本当に大変でした。授業は基本的に英語ですが、どうしてもトルコ語が分からないことで苦労することも少なからずありました。一方で、自分と同じ志を持った遠い国の友達がたくさんできたことは本当に良かったし、みんなフレンドリーで楽しかったです。彼らからたくさんのことを学んだと思います。